

## 佳作

### 生き物を大事にしよう

御成門小学校 熊木 美伶

わたしたちは、工場や家庭オフィスからたくさんのごみを捨てています。生ゴミや紙くずなどの燃えるゴミがしょきやくされています。私は、それが環境に悪いと思います。(燃えないゴミ、粗大ゴミもそうですが…)生ゴミは、三〇%〜四〇%が食べ残り、一〇%はそのまま捨ててしまうのですからね。

そうすると、生き物は大丈夫でしょうか？安全にいられるのでしょうか？珍しい生き物、あまり都会で見られなくなった物は、きっと減少していると思います。水の中で生きていく生物は、あまり外に出ないから、水の方が、どちらかと言えば安全だと思います。私はふだん、花だんでアリやダンゴムシなどの土の中で生きている虫しかあまり見ません。(土の中は安全なのかとても不思議です。)最近寒くなってきたので、あまり虫を見かけなくなってきました。春になると冬眠から覚めたカエルやヘビが地中から出てくると思います。

田舎では、田んぼの中や用水路によくいます。田んぼには、ザリガニやカエル、用水路には、ヤゴや小さい魚がたくさんいます。田舎には、少ししか工場や、発電所が無い

ので環境が良いのだと思います。都会でも環境が良くなるには、一人一人が努力しなければいけないと思いました。例えば、最近話題になっているエコやリサイクルです。リサイクルは、紙やびんなどのリサイクルの他にも、家電製品のエコです。テレビでは、よくトイレのエコについて説明しています。リサイクルの時は、紙をまた新しく再生紙に使ったり、ペットボトルはカーペットや衣類にしたりしています。その他にも、あき缶は鉄道の部品になったりと、身近にある物が変わっているのでおどろきです。

これからも、ペットボトルのキャップを集めたり、水のむだ使いをしないなどのようなことをして、少しでも生物が安全でいられるようにしたいです。がんばります。